

海域の概要

本湖は、厚岸湾に連なる、楕円形で周囲が約0 kmの汽水湖です。湖口の近くには大小 60 数余のカキ島が散在します。湖内ではカキをはじめ、アサリ・ノリなどの養殖が行われています。



厚岸湖

Specification諸元

湾口幅：0.4 km

面積：3.2 km²

湾内最大水深：9 m

湾口最大水深：9 m

閉鎖度指標：1.4.1.4

備考：環境基準類型指定水域

Location範囲または位置

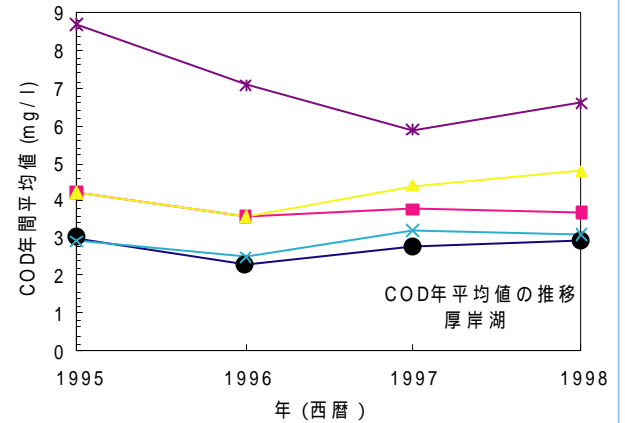
北海道厚岸郡厚岸町。



環境

閉鎖性が高い厚岸湖の水質は良好とはいえません。寒辺牛川・尾幌川を通して、湿地帯に流入しています。

COD年平均値の推移をみると、2mg/lを下回ることはなく、最も高いCOD年平均値を示す地点では、6～9mg/lの範囲で変動しています。



自然

厚岸道立自然公園のメインである厚岸湖は、厚岸湾に連なる楕円形で、周囲 24.8km の汽水湖です。湖口の近くに散在する大小 60 数余のカキ島は、潮の干満で見え隠れするもの、干潮時でも見えないものなど様々で、天然のカキ殻からなるカキ礁が隆起して生じたものです。また、俗に弁天島と呼ばれている小島には、カキ島弁天神社があり、周辺ではカキをはじめ、アサリ、ノリの養殖が行われています。

塩生植物のアッケシソウは、1891年に厚岸のカキ島で発見されました。普通、緑色をしています。秋には茎が紅紫色になり、俗称サンゴ草とも呼ばれています。



アッケシソウ（サンゴ草）

文化歴史

厚岸湖のために 1992年から漁師の林業グループ「厚岸町緑水会」が町の土地を借りて植林を続けています。1993年に別寒辺牛湿原がラムサール条約に登録されてからは、町も町民参加の植樹や民有林を買い上げ、経済的に森林造成できない所有者の私有林を整備する「公的分収林整備事業」も始めました。

さらに、厚岸町では、1997年から厚岸湖のカキ、アサリのために合成洗剤を使わない水質汚濁防止対策として、せっけん購入の 25%助成を行っています。

産業

厚岸湖はカキ養殖が有名で、稚貝を春に厚岸湖に入れ、投入から 2 年目の夏、産卵で弱った貝をいったん厚岸湾に移して身を回復させ、再び厚岸湖に戻してうまみを出し、出荷するという流通システムが確立しています。

厚岸漁協地方卸売市場での 1998 年の取り扱いはむき身と殻付きの計は 438 トン、金額で 3 億 8 500 万円でした。カキ島を所有する養殖業者は 234 人います。